資料１

感染拡大防止に向けて小・中学生にできること

令和３年７月
教育庁指導部義務教育指導課

新型コロナウイルス感染症については、ワクチンの接種が進められているところですが、変異株による若年層への感染リスクが高い状況があるなど、引き続き徹底した対策が必要です。感染拡大を防止するためには、正しく恐れ、一人一人が自覚ある行動をとることが、夏季休業中においても求められます。

■新型コロナウイルス感染症について

○人の流れが増加しており、変異株による陽性者が著しく増加しています。

○みんなで協力して感染を抑え込んでいくことが必要です。
○引き続き、基本的な感染予防対策の確認・徹底が必要です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、一人一人が当事者意識をもち、行動することが重要です。

新型コロナウイルスから自分の身を守り、また、周りの大切な人を守ろう！

■感染しないために心掛けること

○免疫力を高めるために、夏季休業中も生活リズムを整え、十分な睡眠と適度な運動、バランスのとれた食事を心掛けましょう。

○マスクをしているからと安心せず、不要不急の外出は避けて自宅で過ごすようにしましょう。
（・生活必需品を買いに行く…○　　・友達の家に遊びに行く…×）

○毎朝、自宅で検温するとともに、発熱や咳等の症状が見られるときには、かかりつけ医等、身近な医療機関に電話で相談しましょう。

みんなが取り組むこと

■感染症の予防の効果について学ぼう

＜3月22日放送「NHKスペシャル“パンデミック”との闘い～感染拡大は封じ込められるか～」から＞（6分16秒）

・新型コロナウイルス感染症の予防のために、咳エチケットやこまめな換気をすることがなぜ重要なのかについて、分かりやすくまとめられています。

■もしもの時のために（最新情報を確認）

「東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト」では、最新の情報と感染症が心配な時の相談窓口が紹介されています。

＜東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト＞

人権感覚を養おう

■自分はどうすべきか考えてみよう

都教委HP「考えよう！いじめ・ＳＮＳ@Tokyo」には、新型コロナウイルス感染症に関するいじめや偏見、差別によって苦しんでいる生徒、身近な人が感染した際、どのように接したらよいか悩んでいる生徒の話が掲載されています。自分だったらどうするか、考えてみましょう。

「考えよう！いじめ・SNS@Tokyo」（漫画形式の教材）

悩みは相談しよう

■心配ごとや悩みは身近な大人に相談

充実した生活の中でも、生活や友人関係のトラブルなど、誰もが悩みや心配をもつものです。

「心が疲れた」と感じたときには、信頼できる大人に相談するなど、助けを求めてください。大人への相談が難しいと感じたときは、ＬＩＮＥ相談「相談ほっとＬＩＮＥ@東京」などに相談しましょう。

＜相談ほっとＬＩＮＥ@東京＞

○ 東京都教育相談センター　0120-53-8288（24時間受付）
○ ヤング・テレホン・コーナー　03-3580-4970